

向こう3か月の天候の見通し

中国地方 11月～1月

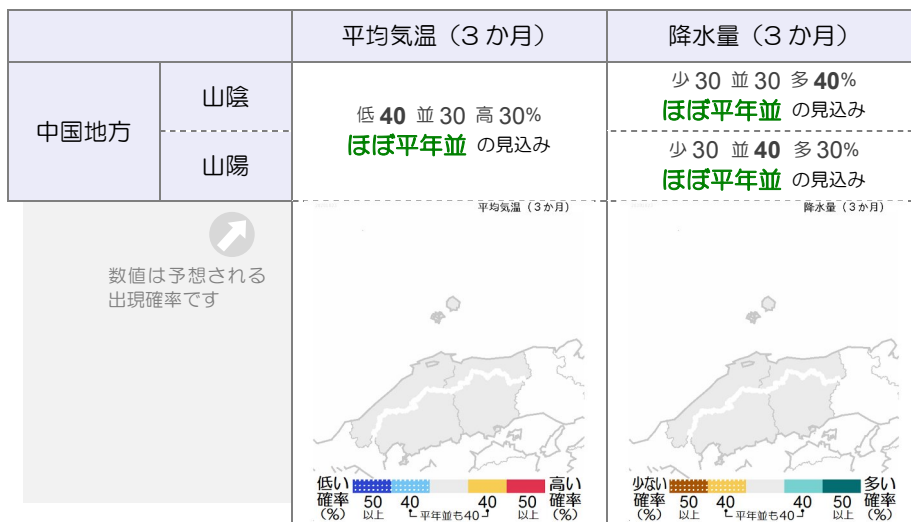
広島地方気象台

予報のポイント

- 11月は暖かい空気に覆われやすく、気温は平年並か高いでしょう。
- 12月は寒気の影響を受けやすく、冬型の気圧配置が強まる時期があるでしょう。このため、気温は平年並か低く、山陰の降水量は平年並か多い見込みです。

この時期の天候に影響の大きい北極振動の予想は難しく、現時点では考慮できていませんので、予報には不確実性があります。常に最新の1か月予報等をご覧ください。

3か月の平均気温・降水量











月別の天候

11月	12月	1月
<p>低気圧の通過後に冬型の気圧配置となる時期があるでしょう。</p> <p>山陰では平年と同様に曇りや雨の日が多く、山陽では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。</p>	<p>冬型の気圧配置が強まる時期があるでしょう。</p> <p>このため、山陰では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多い見込みです。山陽では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</p>	<p>冬型の気圧配置が現れやすいでしょう。</p> <p>山陰では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、山陽では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。</p>

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

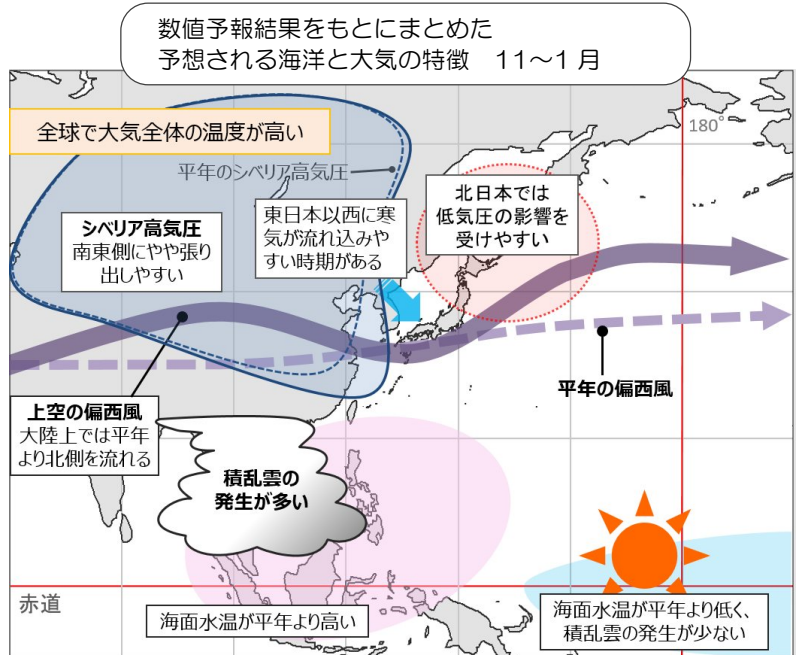
月別の平均気温・降水量

		平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
中国地方		低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 40 並 40 高 20% 平年並か低い 見込み	低 40 並 30 高 30% ほぼ平年並 の見込み
 数値は予想される出現確率です				
		低い確率 (%) 50 40 平年並も40% 高い確率 (%) 40 50	低い確率 (%) 50 40 平年並も40% 高い確率 (%) 40 50	低い確率 (%) 50 40 平年並も40% 高い確率 (%) 40 50

		降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月
中国地方	山陰	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み
	山陽	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
 数値は予想される出現確率です				
		少ない確率 (%) 50 40 平年並も40% 多い確率 (%) 40 50	少ない確率 (%) 50 40 平年並も40% 多い確率 (%) 40 50	少ない確率 (%) 50 40 平年並も40% 多い確率 (%) 40 50

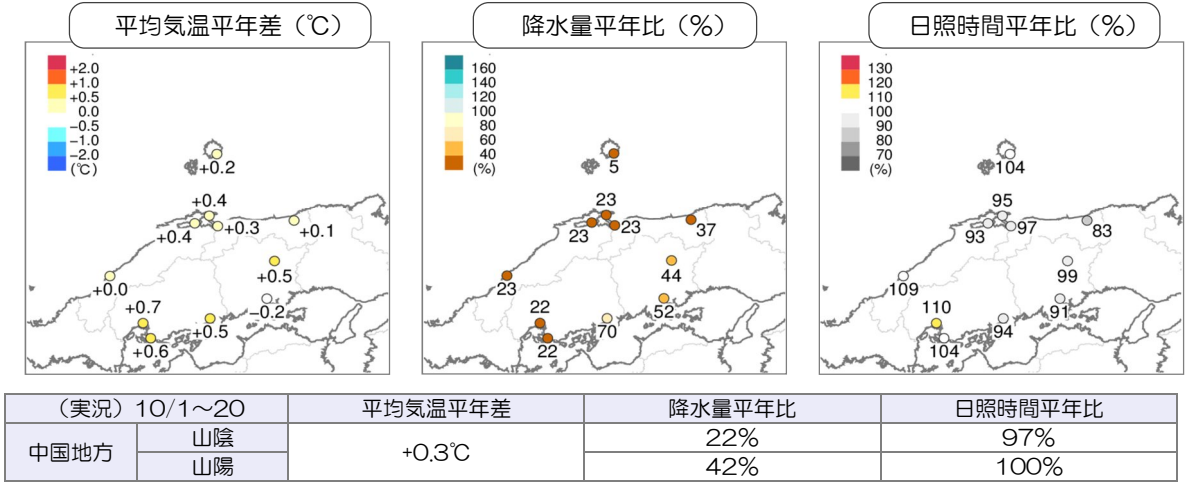
予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- ラニーニャ現象が続く見込みで、太平洋の海面水温は中・東部の赤道域では平年より低い一方、西部熱帯域では平年より高いでしょう。このため、西部熱帯域では積乱雲の発生が多い見込みです。
- これらの影響により、上空の偏西風は、大陸上では平年より北を流れやすく、日本付近では南に蛇行するでしょう。このため、シベリア高気圧は南東側でやや強く、東日本以西に寒気が流れ込みやすい時期がある見込みです。
- 一方、北日本では低気圧の影響を受けやすく、寒気の影響をやや受けにくい見込みです。



今月の天候経過（実況） 10/1~20

高気圧と前線及び湿った空気及び台風第14号の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わりました。高気圧に覆われて、山陽を中心に晴れた日が多くなりました。



参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
中国地方	平年差：0.0~+0.5℃	平年差：-0.3~+0.4℃	平年差：0.0~+0.5℃	平年差：-0.1~+0.3℃
松江	7.6~8.1℃	11.3~11.9℃	6.8~7.5℃	4.2~4.8℃
広島	8.3~8.9℃	12.2~13.0℃	7.3~7.9℃	5.2~5.5℃

	降水量 3か月	降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月
山陰	平年比：94~111%	平年比：91~115%	平年比：81~112%	平年比：83~111%
山陽	平年比：84~115%	平年比：61~111%	平年比：64~131%	平年比：64~99%
松江	384.8~446.5mm	105.6~156.0mm	104.6~156.7mm	125.3~170.2mm
広島	127.3~164.0mm	38.3~81.0mm	27.1~55.0mm	30.8~47.5mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981~2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11~20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	11月		12月		1月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
松江	12.5日	13.1日	8.8日	15.9日	6.5日	17.9日
広島	18.4日	6.1日	19.5日	4.9日	18.1日	5.7日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上 (20 : 40 : 40)	高い（多い）見込み 平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上 (40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
低い（少ない）確率が50%以上 (40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない）見込み 低い（少ない）見込み

寒候期予報の見直しについて
 新しい予測資料をふまえ寒候期の天候について検討しましたが、9月25日に発表した寒候期予報の内容に変更はありません。